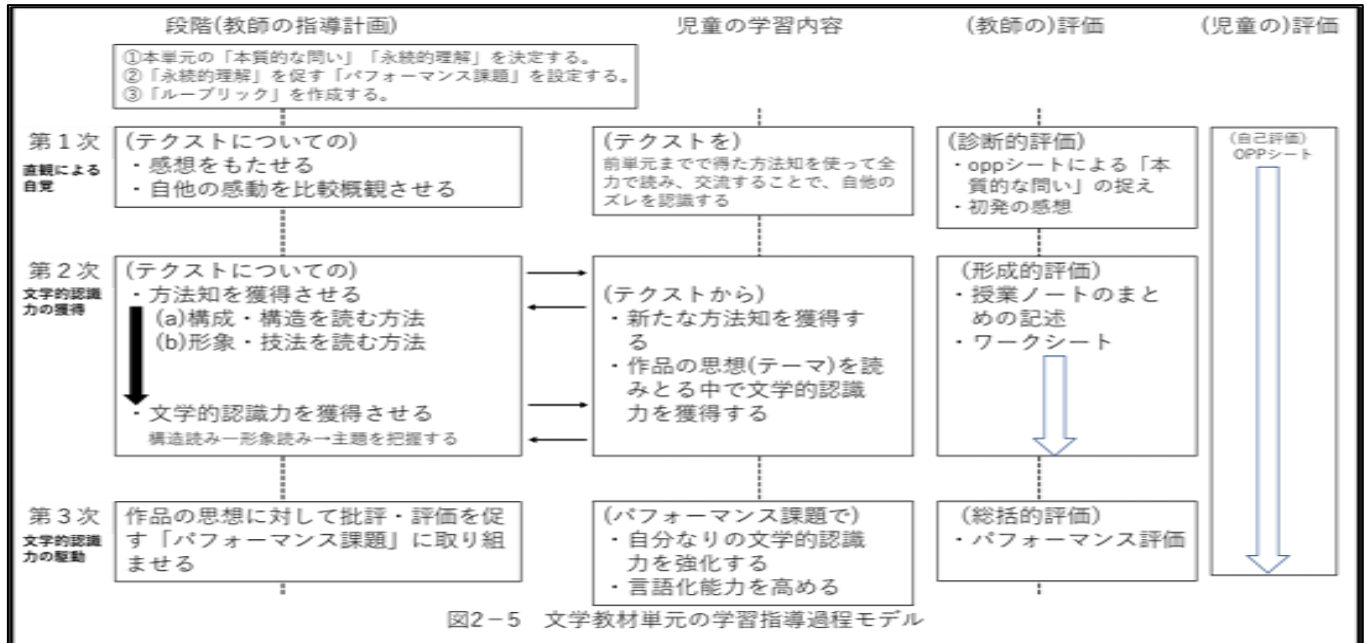
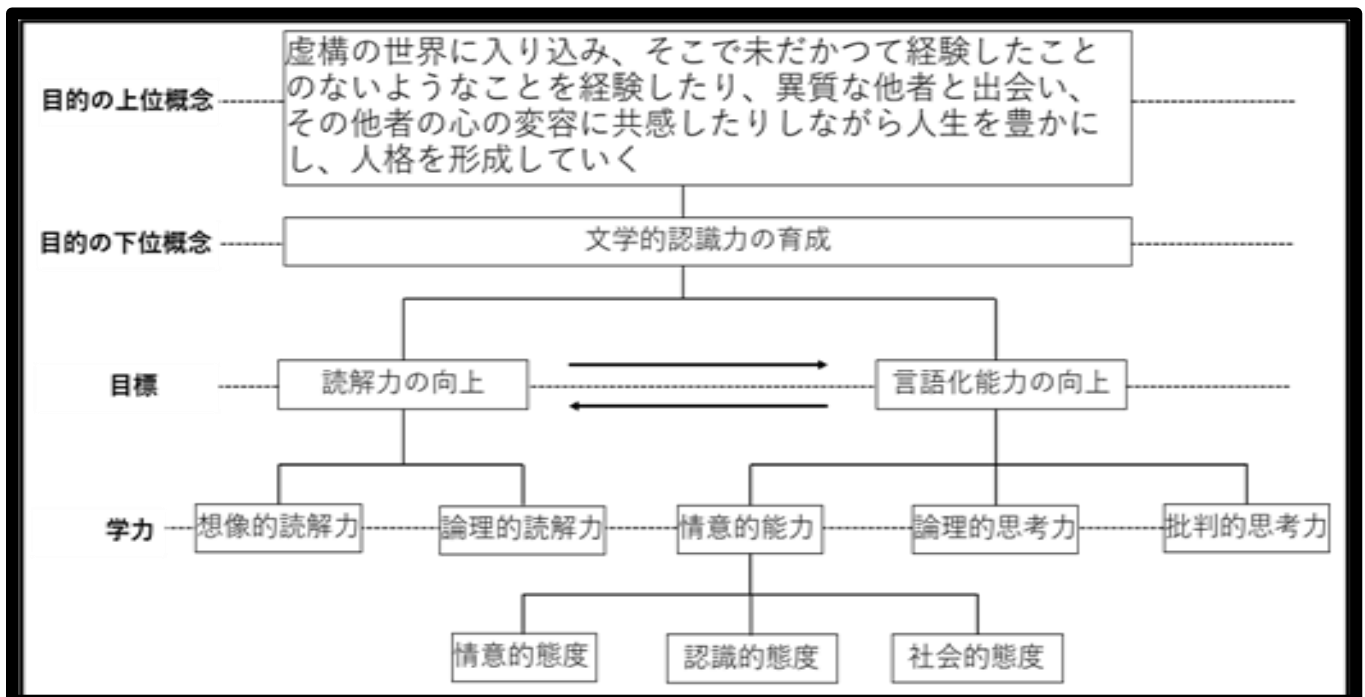


第4学年2組 国語科学習指導案

1. 単元名 作品を命名してみよう！
2. 教材目 「一つの花」
3. 文学教材単元の学習指導過程モデル



4. 学力



5. 指導計画（全10時間）

1	単元名	単元(題材)名：一つの花					
		包括的な「読み」の基準 文学作品の展開を踏まえつつ作品を対象化し、評価・批評する「読み」					
2	単元目標	単元目標 ・ 作品の中の大事な言葉を手掛かりに場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことができる。 ・ 視点の効果について考えることができる。 ・ 作品内容を踏まえ、自分の考えを進んで書こうとしている。					
		観点別評価基準					
		(主体的に学習に取り組む態度) ・ 評価・批評を加える際に、自分の経験を具体的に踏まえながら作品を価値付けしようとしている。		(思考力・判断力・表現力) ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことができている。 ・ 自分なりの考えを主張・根拠・理由の3点ロジックで評価を加えることができている。		(知識・技能) ・ キーワードとなる言葉に着目し、クライマックスを捉えることができる。 ・ 視点の効果を理解することができる。	
		【重点目標】 「本質的な問い」 ・ 本作品に描き出されている「思想」とはどういったものか、また、その「思想」に対して自分ならどうという題名をつけるか。 ・ 自分の考えを明確に表出するにはどのような伝え方がよいか？		【方法知】 ・ 山場の始まりをとらえる(「構成」①) ・ 人物の気持ちの変容に着目する(「事件」①) ・ 三人称客観視点で描き出されていることを知る(「視点」①)			
		「永続的理解」 ・ 平和の大切さや、戦争という状況下でも確かにある家族の絆を理解した上で、新たな題名を考えることで作者との違いを明確にしながら自分なりの思想を表出できる。(想像的読解力)(論理的読解力)(認識的態度) ・ 自分の考えを伝えるときは、聞き手に分かりやすいように根拠・理由・主張のロジックで伝えることができる。(論理的思考力)(批判的思考力)					
3	評価方法	【パフォーマンス課題】 あなたが作者ならこのお話にどうという題名をつけるかを考えましょう。その際は、今西祐行さんが題名につけた思いを踏まえて自分ならどう題名をつけるかを記述すること。					
		【 知的的好奇心(新奇性 挑戦性 意外性 複雑性 不確実性) ・ 有能さへの欲求 ・ 向社会的欲求 】 知：「挑戦性」を促すために単元当初に批評・評価することの意義を説明し、そのために今回は「題名」をつけるという課題を設定したことを明示する。 有：目標を明確化させ、持続的な努力を促すために、単元当初に一度「題名」付けを体験させ、単元を通してさらによりよい題名をつけられるよう意識を促す。 向：クラスの友だちのためにという意識をもたせるために、「題名」だけを考えた上で、カテゴリー別にグループを編成し、学び合いをしながら根拠や理由を考えていく場を設定する。					
		【その他の評価方法】 ≪形成的評価≫ ・ 授業ノートの記述 ・ 授業のまとめ、振り返り ≪総括的評価≫ ・ 標準テスト(知識・技能) ・ パフォーマンス評価(主体的に学習に取り組む態度) (思考力・判断力・表現力)					
4	評価基準	尺度	思考・判断・表現 (想像的読解力)	思考・判断・表現 (論理的読解力)	思考・判断・表現 (批判的思考力)	思考・判断・表現 (論理的思考力)	主体的に学習に取り組む態度 (認識的態度)
		3	このお話を通して戦争の悲惨さも内包しつつ、平和への希望や家族の絆を想像することができる。	繰り返し出てくる言葉の意味の違いを根拠にして自分の考える本教材の「主題」について記述できている。	作品に描き出されていることを根拠として、「評価・批評」をできている。	作者の考えと対比する形で作品の評価を加えることができる。	評価・批評を加える際は、友だちの意見を参考にしつつ自分の立場から主体的に「題名」を考えようとしている。
		2	このお話を通して平和への希望や家族の絆について書かれていることを想像して読み取ることができる。	繰り返し出てくる言葉の意味の違いを根拠にしようとしているが、繋がりが抽象的なまま自分の考える本教材の主題について記述をしている。	作品に描き出されていることを根拠とせず、自分の経験則でのみ、「評価・批評」をしている。	作者の考えと対比する形では書けていないものの、自分なりの考えのもと評価を加えることができる。	評価・批評を加える際は、友だち意見を促されながらも「題名」を考えようとしている。
		1	このお話を通して平和への希望や家族の絆について書かれていることを想像して読み取ることができない。戦争は嫌等に終始している。	自分の恣意的な読み取りで本教材の「主題」を記述している。	作品に描き出されていることを根拠とできず、題名の理由づけの部分が「楽しい」や「面白い」等の「感想」になっている。	自分なりの考えを主張のみでしか書けておらず、論理性に欠ける。	評価・批評を加える際は、自分で考えようとはせず、友だちの意見をなぞって書くことに終始している。

6. 単元構成

教材名：「一つの花」(全10時間)				
指導段階	時間	学習活動	WHERE TOの視点	獲得する方法知
(直観による自覚段階) 第一次	1	前単元での復習 範読 初発の感想・題名 (OPPシートに記入)	O ：前学年で学習した「方法知」を想起させることで、児童の読みのレディネスを確認する。 W ：児童とパフォーマンス課題を共有する。	
	2	初発の感想の交流	H ：ICTを使用し、全児童の感想を概観できるようにし、自他のズレを認識させやすくする。	
(文学的認識力の獲得) 第二次	3	作品の構造を捉える	H ：物語の構造の型を自力で解かせる。それぞれ意見を交流する。	「構造について」 山場の始まりを捉える。 三人称客観視点であることを理解する。
	4	(構造よみ)		
	5	形象を読み取る (形象よみ)	O ：四部構造で重要となる形象を読み解く。 R ：毎時間、振り返りタイムをとる	「事件について」 中心人物の考え方の変化に着目した読み
	6			
	7			
	8	作品の「主題」を考える	E1 ：作品に対する「主題」を、それまでの「読み」を踏まえて、各々の考えられる「主題」を考える。	
(文学的認識力の駆動) 第三次	9・10	パフォーマンス課題に取り掛かる	W ：「パフォーマンス課題」について詳しく説明する E2 ：出来上がったら観点を満たしているかどうかを推敲させる。	
		パフォーマンス課題に取り組む。OPPシートに記述・交流	E2 ：相互評価で自分の学びを振り返る。	

※WHERE TOの視点

Where,Why	この学習はどこへ向かっているかの道標、学ぶべき理由を示す手立て
Hook,Hold	子どもたちの関心を引いたり、持続させたりするための手立て
Explore, Experience, Enable, Equip	探究的な経験を可能にするために必要とする準備の手立て
Reflect, Rethink, Revise	振り返り、修正し、再考するための手立て
Evaluate	自己評価させるための手立て
Tailor	個人の能力を考慮に入れ、学習を調整するための手立て
Organize	「本質的な問い」に迫れる単元構成を設計するための手立て

7. 本時の学習について

1) 本時の目標

- ・お話を読んで自分なりの感想をもつことができる。

(2) 本時の展開 (1・2 / 10時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前単元の復習	<ul style="list-style-type: none"> ○物語の構成はどんなだったでしょう。 ・導入—展開—山場—終結の四部構成だった。 ・山場が一番盛り上がる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の「方法知」を確認することで、初読時にも意識させたものとする。
初めてお話を聞いた感想を書こう。		
2. 範読を聞き、初読の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○「一つの花」を読んだ感想を書きましょう。 ○交流する(2時間目) ○ <div data-bbox="534 1131 981 1265"> <p>タブレット端末で全員の意見を共有化し、見える化する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点を定めずに自由記述とする。 ・交流を通して、自分と友だちとの感想のズレを表面化させる。その違いを今後探っていく。 ・交流時は、タブレット端末を使用し、一斉に感想を概観できるようにすることで、誰の感想をより知りたいかを各々確認させる。(タブレット) ・自他のズレを顕在化するために、マイナスなお話だと感じた児童は赤色のカードに、プラスのお話だと感じた児童は青色のカードに感想を書かせる。 (2時間目) ・第二次の「形象読み」段階での課題をクラスで設定できたらする。(2時間目の交流時)
3. 今後の予定を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ○単元末にパフォーマンス課題に取り組むこと ○その評価方法としてルーブリックで見取ること ○OPPシートは自分なりの成長をみるためのものなので、評価には入れないことの3点を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもたせることで、何をすべきかを理解させる。 ・OPPシートを使用する意義を理解させる。

1) 本時の目標

- ・本文を四部構成に分けることができる。(構造読み①)

(2) 本時の展開 (3 / 10 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時での復習を想起する。	○物語を分析していくときに最初に何をしたら分かりやすかったかな。 ・時、場、人物に注目して、場面を分けるとよかった。	・既有の知識を活用させるためにも、前単元で学習したことを想起させる。
「一つの花」を4つの構成に分けるとどうなる？		
2. 課題を考え、伝え合う。 ・一人学び ・グループトーク ・全体交流	○一人で考えましょう。 ○グループトークをしましょう。 ○全体で意見を言いましょう。 ・「導入」は、人物や作品の設定が書かれているんだった。 ・「展開」は、事件の始まりを予感させるところだったよ。 ・「山場」は、一番盛り上がるところでクライマックスもあったね。 ・「終結」は、後話だったよ。	・四部構成は「導入—展開—山場—終結」に分けることができることを知らせる。 ・なぜそこで分けられるのかの理由まで検討させる。 ・タブレット端末でセンテンスカードを操作することで、自由な思考を促す。(タブレット端末) ☆本文を四部構成に分けることができている。 (ノート)
3. まとめをする。	○今日は、文章の構成を考えただけで、4つに分けることでどんなメリットがある？考えて、まとめを書きましょう。 ・全体を見ることで、それぞれの繋がりが分かりやすくなる。 ・山場に向かってどういう流れになっていくかが分かりやすくなる。 ・作品の面白さや仕掛けが明確に見えてくる。	・どう書いていいか分からない児童には型「文章を4つの構成に分けると○○ないいいことがあったよ。」の○○の部分埋めさせるようにする。 ・書けた児童から発表させていくことで、書くことに困っている児童の助けとさせる。
4. 振り返りをする。	○振り返りをOPPシートに記入しましょう。 ・お話を「導入—展開—山場—終結」に分けるとスッキリしました。 ・「導入—展開—山場—終結」に分けることが大事。	

1) 本時の目標

- ・本文の4つの構成を理解した上で、クライマックスの部分を検討できる。(構造読み②)

(2) 本時の展開 (4 / 10時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時での復習を想起する。	○「導入—展開—山場—終結」のお話の波はどうなっていたかな。 ・盛り上がる部分ができているね。 ・「クライマックス」という言葉もあったよ。	・既有の知識を活用させるためにも、前単元で学習したことを想起させる。
「一つの花」のクライマックスはどこ？		
2. 課題を考え、伝え合う。 ・一人学び ・グループトーク ・全体交流	○次の4つのセンテンスカードを並び替えましょう。 ・「一つだけちょうだい。」これがゆみ子のはっきり覚えた、最初の言葉でした。 ・「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちょうだいと言え、何でももらえると思ってるのね。」 ・この子は一生、みんなちょうだい、山ほどちょうだいと言って、両手を出すことを知らずにすすすかもしれないね。 ・ゆみ子は、おにぎりが入っているのをちゃあんと知ってしまったので、「一つだけちょうだい。おじぎり一つだけちょうだい。」 ○クライマックスは3つうちどれ？ A「お母さんはそう言って、ゆみ子をあやしましたが、ゆみ子はとうとうなきだしてしまいました。」 B「ゆみ。さあ一つだけあげよう。一つだけのお花、だいじにするんだよう…。」 C ゆみ子のにぎっている一つの花を見つめながら…。	・センテンスカードの並び替え作業を通して、お話の内容、特に、前半部で出てくる「一つだけ」の意味をおさえることで、クライマックスに繋がっているという意識をもたせる。 ☆クライマックスの大まかな部分を見つけることができる。 (ノート) ・選択肢を与え判断させることで、全員考えやすくする。
3. まとめをする。	○まとめを書きましょう。 ・クライマックスは、Bです。根拠は「一つだけ」という言葉です。この言葉から、ゆみ子のくり返し言っていた「一つだけ」と意味が全く変わっているからです。	・どう書いていいか分からない児童には型「」の部分埋めさせるようにする。
4. 振り返りをする。	○振り返りをOPPシートに記入しましょう。 ・クライマックスを見つけることで、お話がどう繋がっているのかが分かりやすくなると思います。	・意見・根拠・理由の3点を記述するように促す。

1) 本時の目標

- ・「導入部」から作品の設定を捉えることができる。(形象読み①)

(2) 本時の展開 (5 / 10 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	<p>○前時の振り返りをしましょう。</p> <p>・「一つの花」も、今までのお話と同じように「導入—展開—山場—終結」の4つに分けることができました。</p> <p>・「導入」は、人物や背景の設定が書かれています。</p>	<p>・まとめ、OPP シートの一番大切だと思ったことの2点について振り返りをさせる。</p> <p>・ドラえものののび太の例えを用い、「導入部」の役割を同時に想起させる。</p>
作品の設定はどうなっている？		
<p>2. 課題を考え、伝え合う。</p> <p>・一人学び</p> <p>・グループトーク</p> <p>・全体交流</p>	<p>○個人</p> <p>○グループトークをしましょう。</p> <p>○全体で意見を言いましょう。</p> <p>時</p> <p>・戦争の激しいころ ・初夏～夏頃</p> <p>人物(ゆみ子)</p> <p>・一人っ子 ・1歳から2歳</p> <p>人物(父母)</p> <p>・優しい ・今っばい</p> <p>・愛情をもっている ・ゆみ子が大好き</p> <p>鍵となる言葉(一つだけちょうだい)</p> <p>・せめて一つだけ ・悲しい言葉</p> <p>・本当はもっと欲しいと思っている</p>	<p>・Xチャートを使いながらそれぞれの登場人物の人物像に迫らせる。</p> <p>・読み取れる情報をXチャートにして整理する。(考える)</p> <p>・班ごとに共有しながら協力して完成させる。</p> <p>「□□だと思う。教科書に○○と書いています。(根拠)ここから▲▲ということが分かるから(理由)」という型を提示する。</p> <p>(ノート)</p> <p>・「時」「場」「人物」「鍵となる言葉」の4つをグループごとに考えさせる。</p> <p>☆それぞれの登場人物の人物像を捉えることができています。</p>
3. まとめをする。	<p>○出てきたことをまとめましょう。</p> <p>・戦争の大変な中、家族3人は貧しいながら愛情を持ち、懸命に暮らしている。</p>	
4. 振り返りをする。	<p>○振り返りをOPPシートに記入しましょう。</p> <p>・「導入部」では、登場人物の人物像が書かれていることが多いことが分かりました。</p> <p>・人物像は「クライマックス」にも繋がっている大切な部分なので、読み飛ばさないように気を付けたいと思いました。</p> <p>・「導入部」では「時・場・人物」や「鍵となる言葉」に注目して考えていけないことが分かりました。</p>	

1) 本時の目標

- ・展開部の読み取りを通して父親とコスモスが戦況下において異質なものであり、価値のないものであるということを捉えることができる。(形象読み②)

(2) 本時の展開 (6 / 10 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	<p>○前時の振り返りをしましょう。</p> <p>・「導入部」では、登場人物の人物像が書かれていることが多いことが分かりました。</p>	<p>・まとめ、OPP シートの一番大切だと思ったことの2点について振り返りをさせる。</p>
父親とコスモスはどういう存在？		
<p>2. 課題を考え、伝え合う。</p> <p>・一人学び</p> <p>・グループトーク</p> <p>・全体交流</p>	<p>○「それからまもなく、～」</p> <p>「ゆみ子は、おにぎりが入っている～」</p> <p>「プラットホームのはしの方で、～」</p> <p>の3枚で間違っているところはどこ？</p> <p>○お父さんの姿と反対の姿が書かれている部分はどこかあったかな？</p> <p>・「他にも戦争に行く人にあって」という部分がお父さんの姿と反対です。</p> <p>○同じようにして扱われているものはあったかな？</p> <p>・コスモスなんじゃないか。</p> <p>・その場にふさわしくないようなところだったよ。</p> <p>・「ゴミ捨て場のようなところ」とか「わすれられたようにさいていた」と書いているね。</p>	<p>・提示する3枚のセンテンスカードに語句レベルの間違いをしかけとして挟んでおくことで、全員が参加しやすくする。</p> <p>・3枚のセンテンスカードの対比から、戦場に出るのに相応しくない父親像をイメージさせる。</p> <p>・コスモスのどういう点が父親と相似しているかを教科書の言葉を根拠に考えさせる。</p> <p>・相似していることを視覚的に分かるような板書をする。</p>
3. まとめをする。	<p>○まとめを書きましょう。</p> <p>・お父さんもコスモスも戦争という中では、特に必要のないいらない存在であった。</p>	<p>☆展開部の読み取りを通して父親とコスモスが戦況下において異質なものであり、価値のないものであるということを捉えることができている。</p> <p>(ワークシート)</p>
4. 振り返りをする。	<p>○振り返りを OPP シートに記入しましょう。</p> <p>・価値のないコスモスがクライマックスにどう繋がっていくのが楽しみです。</p> <p>・比べたりしながら読むと分かることもあるんだなと思いました。</p>	

1) 本時の目標

- ・父親がゆみ子に一輪のコスモスをあげた理由を述べるができる。(形象読み③)

(2) 本時の展開 (7 / 10 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	<p>○前時の振り返りをしましょう。</p> <p>・前時は、父親もコスモスも戦時下ではいないものというところに似ているところがありました。</p>	
お父さんはなぜゆみ子に一輪のコスモスを渡したの？		
2. 課題を考え、伝え合う。	<p>○仲間外れゲームをします。今から出す4枚のセンテンスカードで仲間外れはどれ？</p> <p>・「一つだけちょうだい。」これがゆみ子のはっきり覚えた、最初の言葉でした。</p> <p>・「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちょうだいと言え、何でももらえと思ってるのね。」</p> <p>・この子は一生、みんなちょうだい、山ほどちょうだいと言って、両手を出すことを知らずにすごすかもしれないね。</p> <p>・「ゆみ。さあ一つだけあげよう。一つだけのお花、だいじにするんだよう…。」</p>	<p>・仲間外れゲームというゲーム性を高めることで児童の意欲を引き出す。</p> <p>・単なるゲームで終わるのではなく、なぜ選択したものが仲間外れなのかの理由まで考えるように促す。</p> <p>・「一つだけ」という言葉の意味がプラス・マイナスということに加え、渡すものが食べ物か食べ物でないかという違いにも気づかせる。</p>
・一人学び	○戦時下では価値のないコスモスで、なおかつ食べ物でもないコスモスをなぜあげたのかな？	・話し合い時に、児童に板書をさせることで、より詳しく意見を聞くことができる。
・グループトーク	・こういった花を大切にできない時代であっても、強く逞しく成長していったという願いを込めたから。(ゆみ子への思いを伝えるタイプ)	・机間巡視でクラスの児童の意見をある程度把握しておき、近いタイプの意見を並んで板書させるようにする。
・全体交流	・最後の自分の形見として、とっておいてほしかったから。(自分のためタイプ)	・数人に板書してもらったあと、自分はどの友だちの意見に相似しているか、○○タイプと自分で分類する。
3. まとめをする。	・花は人を喜ばせることのできるものだから。(花の力に頼ったタイプ)	☆父親がゆみ子に一輪のコスモスをあげた理由を述べるができる。
	○まとめを書きましょう。	
	・こういった花を大切にできない時代であっても、強く逞しく成長していったという願いを込めたから。	
4. 振り返りをする。	○振り返りを OPP シートに記入しましょう。	
	・お父さんの思いを理解することができて良かったです。	(ノート)

1) 本時の目標

- ・「終結部」から「コスモス」が「平和」の象徴であることを捉えることができる。(形象読み④)

(2) 本時の展開 (8 / 11 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	○前時の振り返りをしましょう。 ・父親は、こんな状況でも花というかけがえのないものを大切にできる子になってほしいという思いをもっている。	・まとめ、一番大切だと思ったことの2点について振り返りをさせる。
終結部の内容はある？いない？		
2. 課題を考え、伝え合う。 ・一人学び ・グループトーク ・全体交流	○終結部の内容はある？いない？ ・私は、いると思います。根拠は、「コスモスの花でいっぱい」という言葉です。この言葉から、父親の思いを大切にしていたということが分かるからです。 ・ぼくはいると思います。根拠は、「コスモスの中から聞こえてきた」という言葉です。この言葉から、父親がゆみ子に託した一つの花を大切にしていたことが伝わってくるからです。 ・いると思います。根拠は、「スキップ」や「コスモスのトンネル」などの言葉です。これらの言葉から、これまでの一な印象が+に変わり、ハッピーエンドで終わるという印象をもてるからです。	・旧担任による掛け合いの動画を視聴することで、本時に対する意欲付けを行う。 ・二項対立にすることにより、クラスの誰でもが考えやすくすることで、全員参加させる。 ・答えはないということを先に知らせておく。 ・選んだ理由までしっかりと考えさせる。 ・意見、根拠、理由の3点を考えさせる。また拡大器で文章を拡大しておくことで、どこを根拠にしたかを理解させやすくする。
3. まとめをする。	○コスモスは一本でもよかったんじゃないかな？ ・たくさんあることは平和な世の中になったということを表しているよ。	・「一本でもよかったのでは？」と発問することで、コスモスの量は、「平和」に繋がるということを理解させたい。
4. 振り返りをする。	○まとめを書きましょう。 ・平和の象徴であるコスモスがたくさん咲いていることで、平和な世界になったということが伝わるからいると思います。 ○振り返りを記入しましょう。 ・次は、「テーマ」を考えるので、頑張りたい。 ・終結部前後で対照的な内容が書かれていることが分かりました。 ・比べて考えることが大切だと分かりました。	・「平和」というキーワードを含めて自分なりにまとめを記述させる。 ☆「終結部」から「コスモス」が「平和」の象徴であることを捉えることができている。 (ノート)

1) 本時の目標

- ・お話全体を通して自分の考えるこの作品の「主題」を捉えることができる。(形象読み④)

(2) 本時の展開 (9 / 11 時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	○前時の振り返りをしましょう。 ・父親は、こんな状況でも花というかけがえのないものを大切にできる子になってほしいという思いをもっている。	・まとめ、一番大切だと思ったことの2点について振り返りをさせる。
この作品の「テーマ」は何？		
2. 課題を考え、伝え合う。 ・一人学び ・グループトーク ・全体交流	○一人で考えましょう。 ○グループトークをしましょう。 ○全体で意見を言いましょう。 ・私は、平和への願いだと思います。根拠は、「平和」を表したコスモスを最後父親がゆみ子に渡していた部分です。ここから、「平和」を大事にした作品だということが分かるからです。 ・僕は、家族の愛情だと思います。根拠は、父親がゆみ子に「一つの花」を手渡す場面です。ここから、父親のゆみ子への愛する思いが読み取れるからです。	・意見➡根拠➡理由で答えさせる。 ・話型「この作品の『テーマ』は、○○です。根拠は、△△ということが教科書に書いていたところ。そこから、□□だと考えたから、この作品の『テーマ』は、○○だと思います。」を使い、記述させる。 ・まとめは、この作品のテーマに対しての自分の考えを記述することなので、全体交流後、再度、時間をとって、推敲させる。
3. まとめをする。	○振り返りを OPP シートに記入しましょう。 ・作品には伝えようとしているそれぞれのテーマがあることが分かった。	☆「展開部」「山場」を通して自分の考えるこの作品の「主題」を捉えることができている。 (ノート)
4. 振り返りをする。		

1) 本時の目標

- ・題名をつけることができる。(パフォーマンス課題)


(2) 本時の展開 (10 / 10時)


学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
1. 前時の振り返りをする。	<p>○<u>前時までの</u>振り返りをしましょう。</p> <p>①どんな人物像か？</p> <p>②「展開部」はどんな鍵に注目したか？</p> <p>③「山場」の内容はどんなだったか？</p> <p>④作品の「テーマ」は？</p>	<p>・書評に取り組ませる前にこれまでのお話の整理をクラス全員で行うことで、書評作成に取り組ませやすくする。</p>
このお話に題名(資料1)をつくろう		
<p>2. 課題を考え、伝え合う。</p> <p>・一人学び</p> <p>・グループトーク</p> <p>・全体交流</p>	<p>○パフォーマンス課題を提示する</p> <p>○一人で考えましょう。</p> <p>○グループトークをしましょう。</p> <p>○全体で意見を言いましょう。</p> <p>○振り返りを OPP シートに記入しましょう。</p>	<p>☆題名をつけることができたか。(ノート)</p>
3. 振り返りをする。		

(資料 1)

名前

読んだ本のタイトル

 <p>わたしは、このお話のテーマは、</p>	<p>このお話を読んで、 作品のテーマは 何だと思ったか、 教えてくれるかな？</p>
---	---

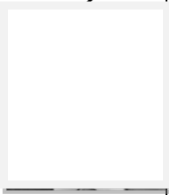
 <p>わたしは、 「<small>「という題名</small> をもいいかなと思っているの。なぜかとい と、</p>	<p>わたしが、このお話を「<small>一つの花</small>」にしたの は、</p>
--	---

名前

読んだ本のタイトル

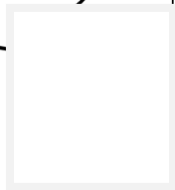
このお話を読んで、
作品のテーマは
何だと思ったか、
教えてくれるかな？

わたしは、このお話のテーマは、



わたしが、このお話を「一つの花」にしたの
は、

「わたしは、
をもいいかなと思っているの。なぜかという
と、」という題名



単元名【一つの花】 → 【 】 → 【 】 名前()

☆「一つの花」を読んでどういふことを感じましたか。

②一番大切に思ったこと

③一番大切に思ったこと

④一番大切に思ったこと

⑤一番大切に思ったこと

⑥一番大切に思ったこと

⑦一番大切に思ったこと

⑧一番大切に思ったこと

⑨一番大切に思ったこと

⑩一番大切に思ったこと

☆「一つの花」を読んでどういふことを感じましたか。	
---------------------------	--

